

# 令和7年度 西北五地域『入退院調整ルール』レポート

(令和7年7月発行)

令和6年度に実施した『入退院調整ルール』のアンケート結果をお知らせします。

## 市町から見た連携のうまくいっている点

- ・ルールの整備により、連携が円滑になってきた
- ・入退院調整ルールの定着化
- ・研修を通し互いの職種への理解が深まってきた

## 市町から見た連携の課題点

- ・本人、家族の意向が十分に反映されていない
- ・医療ニーズと在宅医療のギャップ
- ・介護サービスに対する誤解や周知不足

等

## 臨床現場から見た連携の課題点

### ○ケアマネジャーからの回答

- ・情報共有や伝達に不備がある
- ・退院に関する連絡、調整ができていないことが多い

### ○病院からの回答

- ・「情報共有が必要」との漠然とした要望がある
- ・在宅支援の意識や役割認識の相違がある

等

**患者様・ご家族様が安心して自宅で過ごせるように、  
ルールの再確認をお願いします。**



## 💡 ケアマネジャーの役割

- ・切れ目のない医療と介護の一体的提供のためにも、引き続き情報提供をお願いします。
- ・情報を把握するため、必要時受診に同席する等の対応を引き続きお願いします。

## 💡 医療機関の役割

- ・院内での患者情報の共有のみでなく、入退院調整ルールの周知・共有をお願いします。
- ・退院予定が決まったら、あるいは患者様の状態が安定してきたら（主治医からご家族へのICが行われる時期等）、早急にケアマネジャーに連絡をお願いします。
- ・患者様・ご家族様が安心して自宅で過ごせるよう、引き続きケアマネジャー等関係者と密に情報共有をしてくださるようお願いいたします。

アンケート調査を踏まえ、様式を一部修正いたしました。  
詳細は、西北保健所 HP でご確認ください。ご不明点等ございましたら、  
西北保健所までお問合せください。  
HP : <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/go-hoken/nyutaiinrule.html>



アンケート調査への御協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。